

彫刻専攻

設置クラス	本科	高卒生	月曜～金曜	9:30～16:30	
	専科	高3生・高卒生	火曜～金曜	17:30～20:30	日曜 9:30～18:00
	高2専科	高2生	火曜～金曜	17:30～20:30	日曜 9:30～18:00
	日曜専科	高3生・高卒生（遠方から通塾）	日曜	9:30～18:00	
	高2日曜専科	高2生	日曜	9:30～18:00	



表現を楽しむ感度を磨く

彫刻とは素材に直接手を触れ、自分のイメージや考えを存在させる芸術です。観察を通して美しさを知り、実感することで見えない内側にも大切な意味を学びます。ここでは一人ひとりの可能性を広げながら大学進学と先につながる制作活動を見据え、表現を楽しみ、ともに感度を磨いていきます。

指導スタッフ

若手からベテランまで、厳しさあり、優しさあり、笑いあいの経験豊富なスタッフです。さまざまな課題を通じて、丁寧な指導を行い、志望大学合格までサポートします。

●レギュラー講師

栗野 禎之 東京藝大彫刻卒
今村 三木男 東京藝大大学院彫刻修
岡田 晃典 東京藝大大学院彫刻修

●招待講師

阿部 多為 愛知芸大彫刻在籍

●チューター

示崎 麻紀 愛知芸大大学院彫刻在籍



(2024年12月現在・50音順)

年間カリキュラム	本科	専科・高2専科	日曜専科・高2日曜専科
春期講習			
1学期 ●入塾ガイダンス ●第1回全統共通テスト模試 ●全体保護者会	〔彫刻表現Ⅰ〕 ～観察力の向上と彫刻的要素の理解～ ●自刻像 ●相モデル首像 ●ハイキング ●静物デッサン ●構成塑造 ●石膏デッサン ●素描 ●石膏模刻 ●デザイン・工芸科合同授業 ●クロッキー ●立体造形 ●コンクール ●土曜ゼミ	〔彫刻表現Ⅰ〕 ～自然観察と制作する姿勢を身につける～ ●石膏デッサン ●グラデーション ●静物デッサン※ ●構成塑造 ●ハイキング ●自画像・自刻像※ ●手塑造 ●石膏模刻※ ●コンクール ●道具づくり ●土曜ゼミ ※は専科のみ	
●第2回全統共通テスト模試	夏期講習		
2学期 ●保護者会（三者面談） ●塾生作品展 ●大学入学共通テスト出願 ●愛知芸大公開実技模試 ●第3回全統共通テスト模試 ●全統プレ共通テスト	〔彫刻表現Ⅱ〕 ～自己判断からの実践で表現力を磨く～ ●自由制作 ●石膏デッサン ●ライフマスク石膏取り ●構成塑造 ●クロッキー ●動物塑造 ●石膏模刻 ●デザイン・工芸科合同授業 ●首像塑造 ●コンクール ●土曜ゼミ ●12月ゼミ	〔彫刻表現Ⅱ〕 ～観察力の向上と彫刻的要素の理解～ ●自由制作 ●石膏デッサン ●構成塑造 ●石膏クロッキー※ ●石膏模刻※ ●コンクール ●自画像 ●土曜ゼミ ●12月ゼミ ※は専科のみ	
冬期講習			
3学期 ●大学入学共通テスト ●修了会	〔志望校別対策〕 ～対応力を身につけ、完成度を高める～ 入試に向けて、それぞれの志望大学に応じた課題の対策を行います。入試本番を間近に控え実践力を強化します。		
直前講習			



構成塑造

量と空間、構造と動き、重心バランスといった要素を踏まえ、構成感覚と造形力を身につけます。



ハイキング

自然を感じみんなで楽しく歩きます。ともに制作し切磋琢磨する友人との絆を深めます。



首像塑造

友人や自分、モデルさんなどの頭部をモチーフにして、その人らしさを探求し表現します。



石膏デッサン

自然観察をベースにして、彫刻の造形性を学ぶとともに印象をとらえ実感し描写します。



自由制作

一人ひとりが思い描いた発想を基に、さまざまな素材を使って彫刻表現に挑戦します。



道具づくり

毎日の制作からつくりたい形を想像し、木を削ったり鉄材を加工し、自分専用のヘラをつくります。

彫刻本科では高卒生を対象に、一人ひとりの創造者としての感性や姿勢をはぐくみながら、芸大・美大合格をめざしてデッサンと塑造を軸に学んでいきます。豊富な入試情報とモチーフを用いた幅広いカリキュラムで、立体表現に興味を持つ初心者から経験者まで対応します。

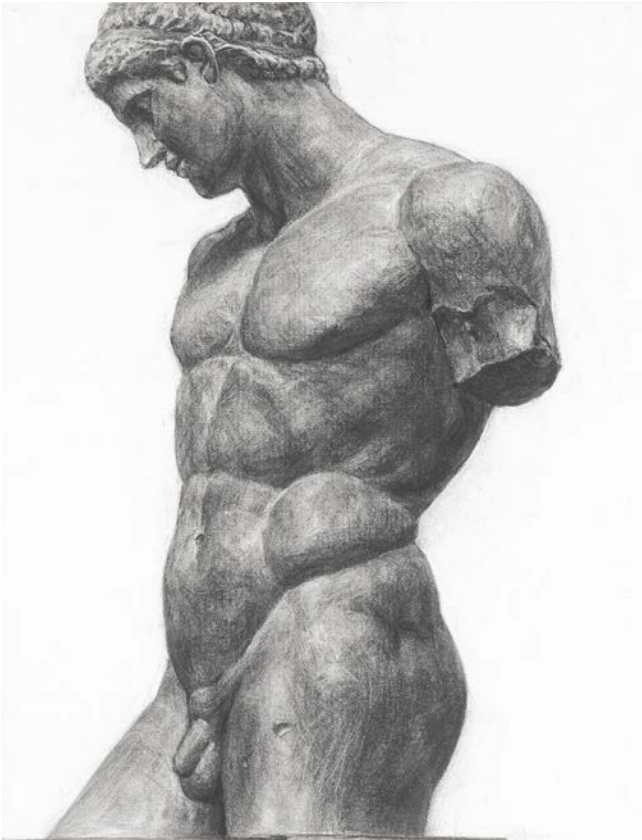
- 1学期は、さまざまなモチーフや素材を使いデッサンや立体制作を通じて表現するうえで必要な観察力を身につけていきます。また発想・思考する力も各課題を通じて磨き、彫刻への理解と制作意欲の向上に力を注ぎます。
- 2学期は、これまでの成果を再確認しながら、入試に即した課題・模試などを通じてテーマをより明確にし、個々の観察力と表現力の幅を広げ、深めていきます。
- 3学期および入試直前期では、入試に向けての時間対応と観察の精度の向上を追求しながら、判断力と表現力のグレードを上げていきます。志望校合格ラインを見据え、個々の持ち味を最大限に生かした対策を行います。

彫刻専科では主に高3生と本格的に彫刻を学びたい高2生を対象に、観察することを基本にしてデッサン力、塑造力の向上、制作を通じて彫刻への理解と表現する楽しさを大切にしたカリキュラムが展開していきます。彫刻日曜専科・彫刻高2日曜専科は、遠方のため平日の通塾が困難な高3生および高2生を対象に、専科に準じた内容を効率よく学んでいきます。ともに立体表現に興味を持つ初心者から経験者まで、個々のキャリアに応じた丁寧な指導を行います。

- 1学期は、自然観察をテーマにデッサン・塑造の基礎を時間をかけてじっくりと学び、木炭・粘土などの素材に慣れ親しみながら制作する喜びと姿勢を身につけていきます。
- 2学期は、入試に即した課題に取り組みながら必要な要素を学び感覚を磨いていきます。そしてその中で個々が実感したことを大切にして、彫刻への興味と意識を高めていきます。
- 3学期および入試直前期では、志望校に合わせた課題で経験を積み、観察力のもとより時間の中での判断力と表現力のさらなるレベルアップを図ります。個々の持ち味を生かし、入試本番で最大限の力が発揮できるよう丁寧に対策を行います。



1. 彫刻が持つ造形性の把握はもとより、立体感や質に対する探求心が魅力的な形を生み、立体を創造する人としての可能性を感じさせます。[6h・木炭紙・専科生]



2. 全身の立ち姿をイメージしながら形を追いつつにしています。高い集中力で実感込めて紡がれたその形から作者の強い意志を感じます。[6h・木炭紙・専科生]



3. 「風景」をテーマにした造形です。夕日に向かって歩く人から伸びる影のような情景を、モチーフであるバケツ断面の質感をうまく使い豊かに表現しています。[6h・水粘土・専科生]



5. モチーフのキャベツと紙袋が循環し再生されるイメージを全体フォルムに込めています。[7h・水粘土・専科生]



6. 風をテーマにした自刻像です。口から吹かれた一息が、自身を浮遊する雲に変えています。[8h・水粘土・専科生]



4. 身体の一部と風景を題材にした作品です。水平線を風景に定義づけ、時と共に風景化する事物の積層が、さかざの頭部に積み上がり、見る者の心に響く力作となりました。[6h・水粘土・専科生]



7. 「生きる」をテーマに、まだ見ぬ何かを自身の手でつかもうとする未来を予感させます。[8h・水粘土・専科生]



1. 巻かれたゴムバンドと石膏像との関係から、見上げた視点によるボリューム感と形体認識を深め細部に至るまで丁寧に描き上げています。[9h・木炭紙・専科生]



2. 正面に座り、光が左右から照らし中央で交差する見え様から意識的に挑戦しています。像の在り様を見失うことなくその利那感をとらえています。[6h・木炭紙・専科生]



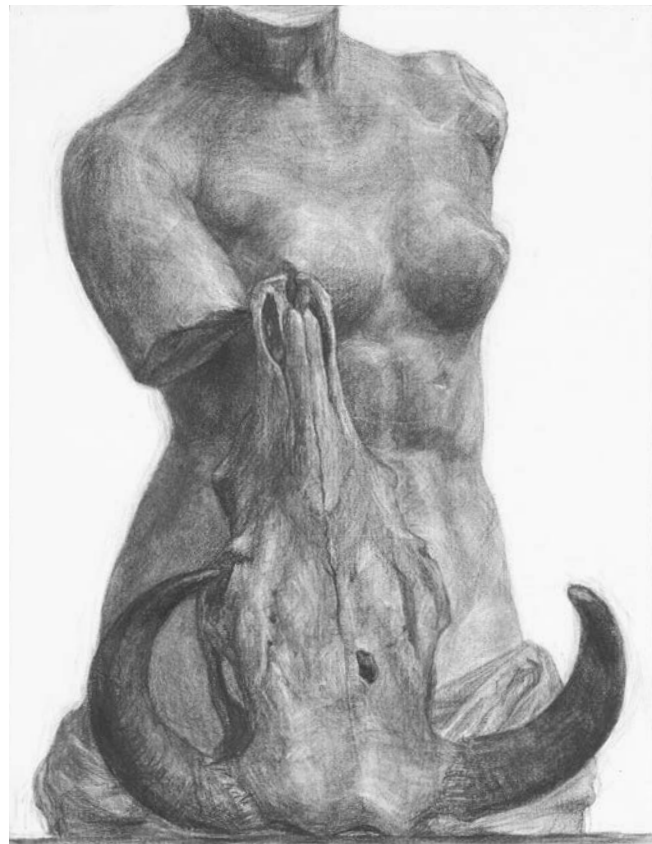
5. 身体から首・頭部へと旋回するように前傾した構造と重心の在処をとらえながら、柔らかなハーフトーンで自然な動きの印象を伝えています。[6h・木炭紙・専科生]



6. 正確に写し取ろうとする意識に加え、その量を量感として、またその空間を空間感として感じ取り表現することの意味を理解した一枚です。[9h・木炭紙・専科生]



3. 難しい位置ですが、像の造形性を確認しながら丹念に描いています。首回りを中心にした体と頭部の描写表現がとても魅力的な作品です。[9h・木炭紙・専科生]



4. 凛とした床の水平面に立つヴィーナスと牛頭骨を正面から淡々と描いています。その難易度に対し、無邪気な観察眼で着実に応えています。[9h・木炭紙・専科生]



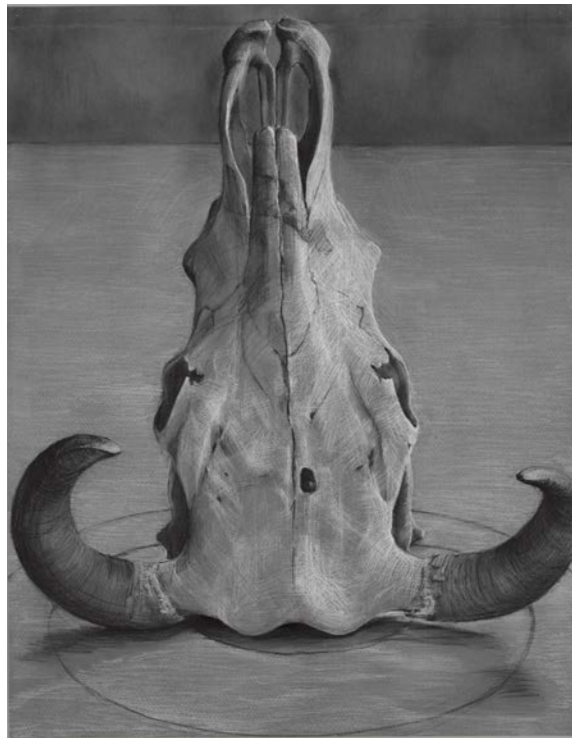
7. 白バックに対しての量空間と光の印象が心地良く明快です。細部まで密度高い描写で形にしており説得力のある表現になっています。[12h・木炭紙・本科生]



8. スケールの大きな空間想定、そして視点を定めて感じ取った全体印象に集中しながら、細部まで誠実に描写され臨場感を伝えてくれます。[12h・木炭紙・専科生]



1. ルービックキューブで遊ぶ動作を、両手の塊に、切断と回転と接着をくり返すことで表現しています。[石膏直付け・本科生]



3. 紙色のグレーを中間色のベースとして描いています。床に立つ牛骨の凛とした佇まいが伝わります。[12h・マーメード紙・本科生]



5. モデルさんの印象を積極的にとらえた形から初々しさとつくる喜びを感じます。[15h・水粘土・専科生]



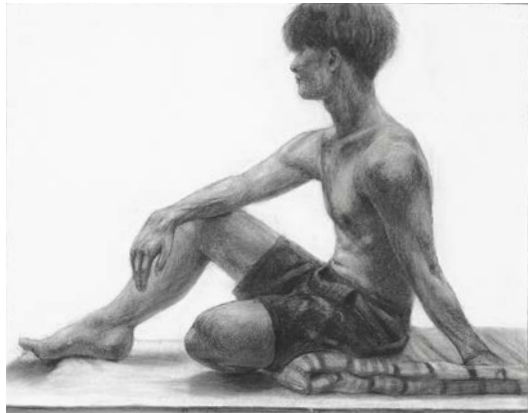
6. 板上の空間に軸を想定し、物をつかむ機能性が生む手の成り立ちを学びます。[12h・水粘土・専科生]



7. 9個のポットの3軸構成です。進めながら見えてきた「ぞう」の鼻がユニークです。[15h・水粘土・本科生]



2. 大型のマスク模刻です。その圧倒的な存在を感じ取りながら内在する形体を探り求め、形を持つ意味を考え彫刻性を実感しています。[24h・水粘土・本科生]



4. ゆったりと座る男の人を、床面全体に気を配り、その空間性を絶妙な構図取りで描き切っています。[6h・木炭紙・専科生]



8. モチーフの紙コップとレタスの特徴を生かし内と外の関わりを造形しています。[6h・水粘土・本科生]



9. 像が持つ構造と動きといった内側を想像し探りながら対象に迫っています。[20h・水粘土・専科生]



10. 俯瞰して観た像の量空間に、また床との関係性を大切に描いています。[15h・マーメード紙・本科生]

合格者からのメッセージ



塚本 まゆうさん

彫刻日曜専科
旭丘高校出身

現役合格

東京藝術大学 彫刻科

入試再現作品



自分のできることをすべてやって、その活動に見合った休み、睡眠をしっかりとり。我慢せずにいっぱい食べる！体を壊しては何もできません。境遇は人それぞれあると思いますが、どんな状況でも必ず突破口はあると思います。決してチャンスを逃さないように強い自分をつくること。太るとか余計なことを気にしてはいけません！



水谷 優太さん

彫刻本科
S高校出身

現役合格

多摩美術大学 彫刻学科

授業作品



好き勝手にやらせてくれたので助かりました。他の美術予備校では、個性が無くなってしまったと思います。模刻表現や写実的な描写はまったくといっていいほどできず、ドローイングや自分のイメージ表現をやらせていただきました。通信制高校だったので本科に通えて、個別に自分に合った方法で彫刻を学ぶことができました。写実表現ができなくてもあきらめず、美大をめざしても良いと思います。

合格者からのメッセージ



五十嵐 百静さん

彫刻専科
旭丘高校出身

現役合格

愛知県立芸術大学 彫刻専攻



入試再現作品

私は今までコツコツと努力をせずに自分のしたいことだけをやってきました。受験はとても大きな挑戦で、塾に入ってから失敗の連続で、毎日自転車に乗りながら帰り道に涙を流しました。ですが、最後の試験の日、自然と手が動き今までのすべてが生きた作品ができました。先生がくださったアドバイスの中で、人生何とかなるが一番心に響いて、スッキリとした気持ちで作品をつくれました。ありがとうございました。



大岡 すずなさん

彫刻専科
愛知高校出身

現役合格

多摩美術大学 彫刻学科



授業作品

河合塾の先生方は制作がうまくいなくても、可能性を信じて最後まで真剣に向き合ってくれました。アドバイスや加筆は生徒それぞれに合わせて指導してくださり、自分の歩幅で上達できたと思います。また平日の専科クラスでは作品の話共有でき、友達から学ぶことが多くありました。真剣に彫刻に向き合う環境がつけられている場所だと思います。